

「ガーデンシティ」推進の三島市



菰池案内板



中央花壇1

平成23年(西暦2011年)「ガーデンシティみしま」の取り組みがスタートしました。水と緑、文化と歴史、富士山の景観など…昔からの市民の宝物に、「花」の癒しを添える事で…「三島に住みたい、訪れたい」と感じてもらえる街づくりを、市と市民で進めていこうとする取り組みです。

この事業には3つのネライがあります。

- ① 品格ある美しい街なみの創造
- ② 元気あるにぎわいづくり
- ③ 新たなコミュニティときずなづくり

三島駅近くの菰池公園(こもいけこうえん)→ 愛染坂→ 白滝公園→ 水上通り(桜川沿い)→ 中心市街地の大通り(県道21号及び県道22号)…このコースで「ガーデンシティみしま」の散策に行ってきました。

菰池公園内には多くの湧水が発生し、桜川の水源となっています。案内板には三島の湧水の仕組みが記載されています(写真上左)。

菰池公園を後に愛染坂方面に移動すると、「さわじ作業所」の皆さん作製の中央花壇内の寄せ植えが見られます(写真上右)。



中央花壇2



中央花壇3

三島駅南口を50mほど南下した愛染坂沿いに(三島市民文化会館前)中央花壇があります。ここには大きなハート型、また円柱型などに、美しい多くの花が飾られています(写真上左右)。

これら中心市街地の花飾りは、平成24年に発足した花のボランティアグループ「花サポーターみしま」の方々が作製や花飾りの手入れ等を…花を楽しみながら、仲間づくりを目的として活動されています。

※花飾りの手入れとは→主に「花がら摘み」のことです。花がら摘みは、傷んだ花や出来た種を摘むことで、他に伸びすぎた枝を切るなど定期的に手入れをして綺麗な状態を保ち、病気をも防ぐ事が出来ます。



[白滝公園1](#)



[白滝公園2](#)

中央花壇から徒歩5分、白滝公園に到着しました。公園入り口には…壁面花壇、高さ3m、横幅9m。赤、白、ピンク、青など4色のペチュニアで富士山の風景が描かれています。そして壁面花壇下方には「みんなで新型コロナを乗り越えよう」のメッセージが添えられています(写真上左右)。写真をクリックし拡大してご覧ください！美しく見事です！

★毎年恒例の行事「みしま花のまちフェア」が新型コロナの影響で中止となり、市民らに安らぎをとの想いで…三島市職員の皆様方が地元産の花を使って飾りつけました。…感激、感謝です！



[白滝公園3](#)



[水上通り1](#)

白滝公園出口では「めぐみの子」が、ヨイショ！ヨイショ！のかけ声と共に元気に湧水を汲み上げてくれます(写真上左)。そして歩道に出ると、マンホールの蓋には、日本一の大つり橋「三島スカイウオーク」が現れました(写真上右)。



[水上通り2](#)



[水上通り3](#)

水上通りを桜川に沿って南下します。この通り歩道上には三島市ゆかりの文学者10名の句碑と花壇が並び、通行人の目を楽しませてくれます(写真上左右)。



[大通り1](#)



[大通り2](#)

三島大社から三島広小路までの大通り(県道22号)800mの間には50基の花飾りと71基の花ぼんぼりが並び、品格ある美しい街並み風景です(写真上左)。

散策の途中…健康、介護などの相談が無料でご利用できます！の看板で…「街中ほっとサロン」に気づきお邪魔してみました(写真上右)。「レッツ エンジョイ おうちかん！塗り絵・脳活素材集」という市役所手造りの小冊子を頂くと共に、慣れない靴で靴ズレが発生してしまった為…バンドエイドを頂き、貼って小休止させて頂きました…有難う御座いました。



[大通り3](#)



[大通り4](#)

今日は令和2年6月1日(月)…まだまだコロナウイルスの関係で、街中の通行人は少ないようですが、一日も早く終息し、多くの方々に「ガーデンシティみしま」を楽しんで頂ければと願っています(写真上左右)。



[大通り5](#)



[大通り6](#)

今日の散策路の最終…本町大通り(県道21号)を北上します。芝本町商店街さんが製作設置されましたオシャレで美しい「ハンキング バスケット」です(写真上左)。私のお気に入り、古風でモダンな建物(三島信用金庫さん)前の花ぼんぼりを観賞しながら散策の親子3人組です(写真上右)。



[大通り7](#)



[大通り8](#)

白色とピンクの…ペチュニアの花ぼんぼり、アップ写真です(写真上左右)。

「ガーデンシティみしま」アクションプラン2020～2024年…新たに4つの柱が策定され現在進行中です。

- ・Plan1→花、まち、人を「育てる」
- ・Plan2→市内外に「魅せる」
- ・Plan3→人を「繋げる」
- ・Plan4→ガーデンシティを「広める」

「ガーデンシティみしま」を推進する為には、一人一人が身近にできる事から取り組んでいくことが大切であると感じました。

取材：中伊豆地区担当 生きがい特派員 安藤 智章